

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 2年次生 永木 千尋

1. はじめに

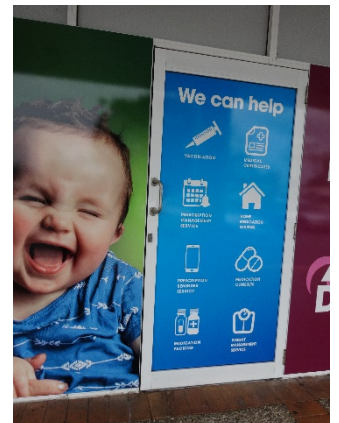
この度、本学の国際交流基金の助成を受けて、2018年2月26日～3月10日までの期間、オーストラリア New South Wales 州のキングスクリフにある TAFE（高等職業訓練専門学校）にて薬学語学研修に参加しましたので報告いたします。



2. 現地研修校

TAFE は大学とは違い、実践的なことを身につける州立高等職業訓練専門学校です。美容コースの教室にヘッドマネキンがあったり、看護コースの教室に医療機器があったり、料理コースの教室にはバーカウンターやキッチンがあったりと、いくつもの専門学校が一つの場所に集まっているような所でした。

午前中はオーストラリアの地理や動物、先住民族のアボリジニー、日常会話、薬学英语、言葉遊びなどをグループワークやゲームを通して学びました。午後はオーストラリアの薬学、アボリジニーを学びました。オーストラリアは日本と違って、薬剤師がインフルエンザなどの予防ワクチンを打ったり、飲み忘れないように薬を朝・昼・夜に分けてパッキングしてあげたりしていました。



3. ホストファミリーと観光

ホストファミリーはお父さん、お母さん、10歳と8歳の娘2人の4人家族でした。誰か1人が歌い出すと誰かがピアノを弾いたり踊ったりする、明るくて元気な家族でした。一緒にピアノを弾いたり、DVD鑑賞をしたり、折り紙をしたり、町を散歩したりしました。私が英語がわからなかったら、家族皆で何度も説明してくれたり、学校の宿題を教えてくれたりととても優しく、楽しいホストファミリーでした。

他のホストファミリーと一緒にナイトマーケットやパーティーにも行きました。パーティーではどうしたらいいかわからず立っていたら、いろんなオ



オーストラリアの人が声をかけてくれて、日本語を披露してくれたり、キングスクリフの見どころを教えてくれたりしました。最終的にはダンスの輪にも参加してパーティーを楽しめました。

皆が好きというオーストラリアの海は、下が見えるほど透明で、砂浜にはゴミが一つも落ちておらず、歩くたびに「きゅっきゅつ」と音がするほどきれいでした。小さい子からお年寄りまで日が暮れるまでサーフィンをしていたり、泳いでいたりしていました。

土曜日と日曜日は休みだったので、土曜日は Movie World という遊園地に連れて行ってもらいました。日曜日はクラスメイトと WILDLIFE CURRUMBIM SANCTUARY という動物園にいき、コアラを抱っこしたりカンガルーに餌をあげたりしました。



4. 最後に

今回の薬学語学研修で私はさまざまな貴重な経験をする事ができました。オーストラリアにいる2週間は毎日毎日、初めて経験することばかりであつという間に終わってしまいました。この研修で、自分の英語能力の低さを痛感しました。思っていることを伝えられないこと、相手の言葉がちゃんと聞き取れないことが多々あったので、もっと勉強し、今度訪れるときには、スムーズな会話ができるようになりたいと思いました。

今回、国際交流基金の助成や多くの方々のおかげでこのような貴重な経験をする事ができました。ありがとうございました。